

## 茨城港大洗港区 賑わい創出に向けた勉強会（第1回）の開催について

日時：平成27年8月26日（水） 12:00～13:30  
会場：（一財）みなと総合研究財団 会議室  
主催：茨城県土木部港湾課、大洗町まちづくり推進課

委員：（一財）みなと総合研究財団理事長（座長）  
大洗町長  
国土交通省港湾局 産業港湾課長  
関東地方整備局 副局長 他

### 勉強会の目的：

大洗町では、震災以降、観光客数が十分に回復しておらず、大洗港区を中心とした新たな賑わいの創出や活性化に向け、期待感は一層高まっている。これまで、大洗港区では、クルーズ船誘致の取り組みを積極的に進めてきたものの、年間の寄港は2回程度にとどまっている。今後更なる寄港回数の上積みを進めるとともに、国内外の大型クルーズ客船やメガヨットなどの誘致を図り、観光振興につなげていきたい。また、大洗マリーナや大洗サンビーチなどのレクリエーション機能も一層充実させ、賑わいの創出を図っていきたい。このようなことを踏まえ、クルーズ船の誘致をはじめ、マリーナやサンビーチなどを活かした、新たな賑わい創出に向け、戦略を立案していくことを目的として開催されました。

### 今回の内容：

第1回の今回は、委員のうち行政関係者を中心に大洗町の観光さらに大洗港区をとりまく現状と課題をテーマに議論が行われ、各委員からは、台湾から大洗港を経由して北海道に向かう旅客が多いこと。北海道に向かうフェリーが週12便あること。ビーチゲームズのメッカとなりえるなど多面的に大洗港区が観光のゲートウェイとしての可能性を持っているとの意見が出され、新たな広域的なクルーズという観点で大洗港のポテンシャルの高さが認識されました。次回は今回の意見を整理し、地域の観光資源との連携や港を中心とした新たな賑わいの創出について議論を深めていく予定です。

【勉強会全景】



【大洗町長  
あいさつ】

